

平成26年度 厚生労働省委託 通年雇用促進支援事業

## 平成26年度 通年雇用化実態調査

### 調査結果報告書

東胆振・日高・平取地域 通年雇用促進支援協議会

東胆振・日高・平取地域通年雇用促進支援協議会 代表挨拶

この度は、時節柄なにかとお忙しい時期に、当協議会の調査事業にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

当協議会につきましては、平成19年度から厚生労働省の委託を請け、季節労働者の通年雇用化へ向けた各種事業を、実施してきたところでございます。

さて、当協議会支援地域（苫小牧市、白老町、厚真町、安平町、むかわ町、日高町、平取町）における平成25年度の季節労働者数は、3,616人と、前年度と比較して200人ほどの減となっており、年々減少傾向にあります。しかしながら、北海道は、冬期は降雪のため通年での業務確保が困難な状況であります。

今回いただきました貴重なご意見をもとに、協議会事業の計画立案に役立て、構成している自治体、各団体とも連携を強化し、通年雇用化促進のため努力する所存でございます。

今後とも皆さまのご協力、ご支援をお願い申し上げます。

平成27年1月

東胆振・日高・平取地域通年雇用促進支援協議会 代表  
苫小牧市産業経済部長

福原 功

## 平成26年度 通年雇用化実態調査 調査結果

### 1 調査目的

苫小牧公共職業安定所管内の1市6町(苫小牧市、白老町、厚真町、安平町、むかわ町、日高町、平取町)の季節労働者などの雇用状況を把握し、今後の通年雇用の促進や、当協議会の事業実施の際の基礎資料とすることを目的とする。

### 2 調査対象

苫小牧公共職業安定所より情報提供いただいた、管内で季節労働者を雇用する(していた)事業所。

### 3 調査方法

調査対象事業所に、調査票一式を郵送し、調査を実施。

### 4 実施期間

平成26年10月6日から平成26年11月7日。

### 5 送付枚数及び回収枚数

200事業所に送付し、88事業所より回答をいただく。(回収率44%)

### 6 調査内容について

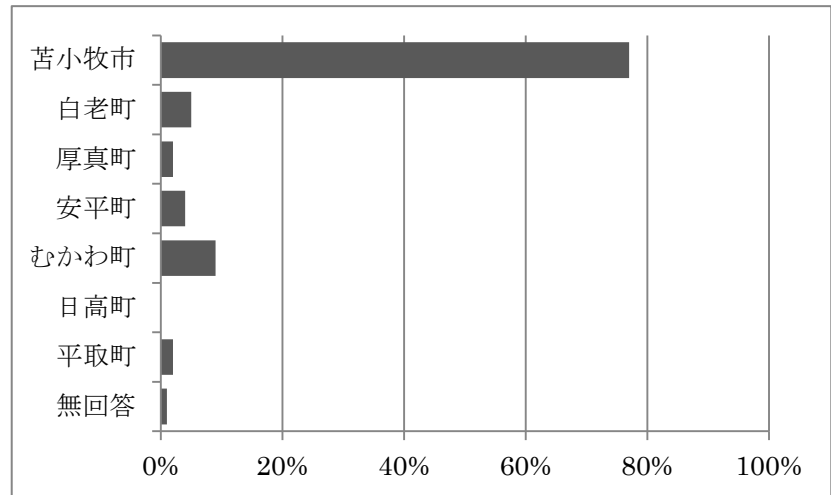
各設問の下部に、考察として推察される内容を記載。

①貴社の業種や状況等について、お伺いします。

【設問1 貴社(事業所)について、お伺いします。】

・所在地について

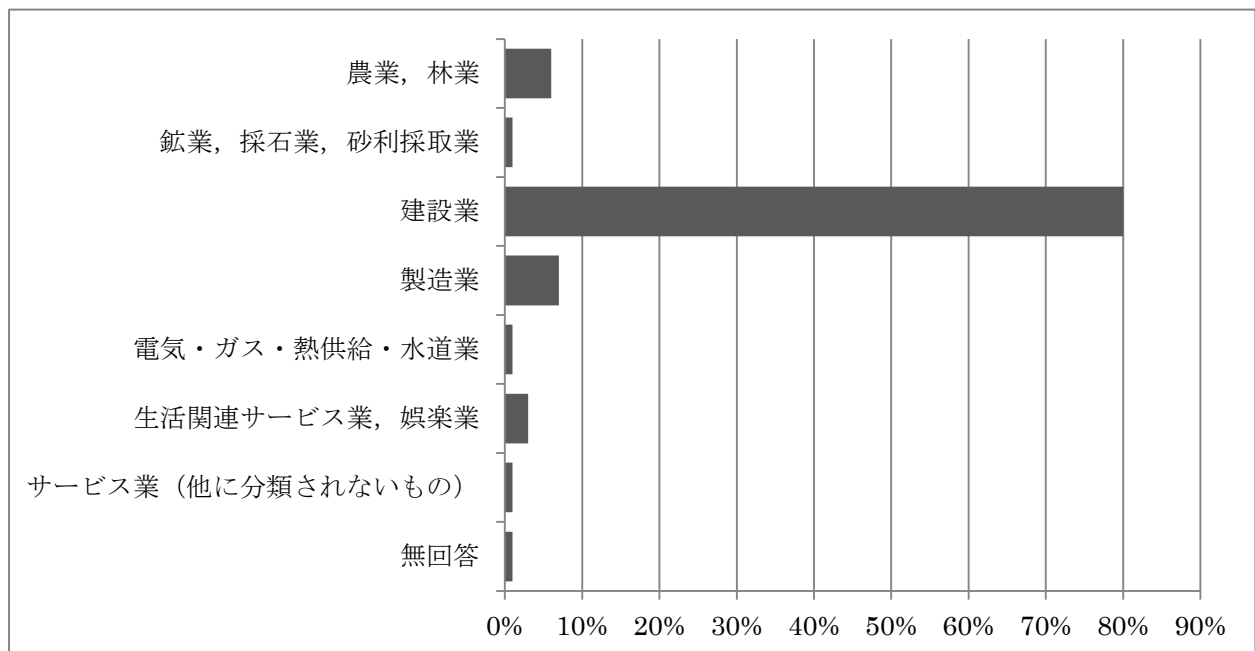
苫小牧市	68
白老町	4
厚真町	2
安平町	3
むかわ町	8
日高町	0
平取町	2
無回答	1



・業種について

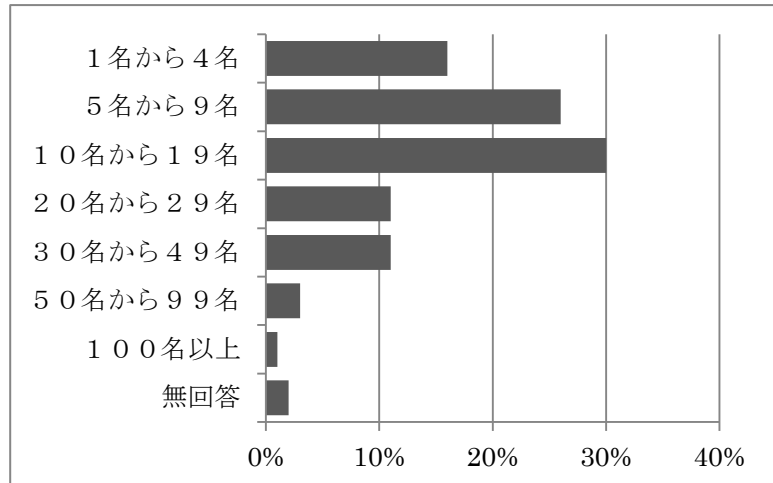
農業，林業	5
鉱業，採石業，砂利採取業	1
建設業	70
製造業	6
電気・ガス・熱供給・水道業	1
生活関連サービス業，娯楽業	3
サービス業（他に分類されないもの）	1
無回答	1

※日本標準産業分類に基づいて分類。



【設問2 貴社の全従業員数について、お伺いします。】 (回答日現在)

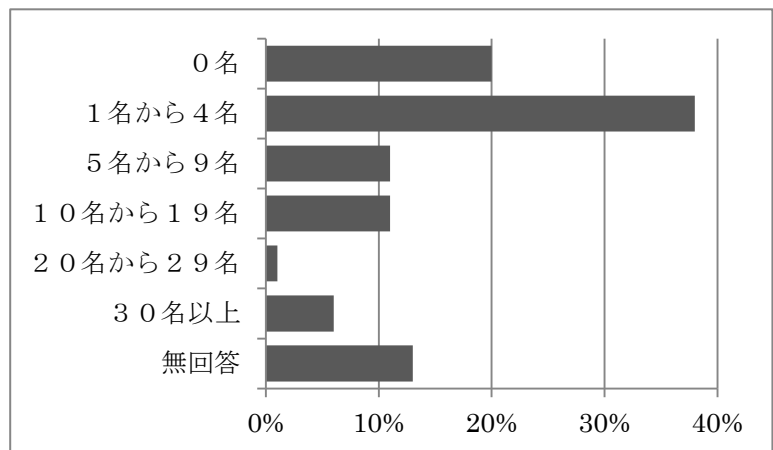
1名から 4名	14
5名から 9名	23
10名から 19名	27
20名から 29名	9
30名から 49名	9
50名から 99名	3
100名以上	1
無回答	2



【設問3 貴社の季節労働者数について、お伺いします。】 (回答日現在)

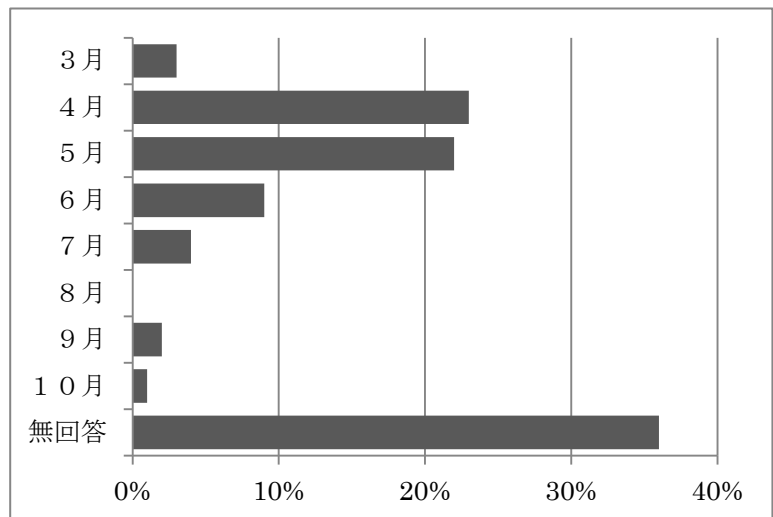
[現在の季節労働者数]

0名	18
1名から 4名	33
5名から 9名	9
10名から 19名	9
20名から 29名	1
30名以上	6
無回答	12



(雇入れ月) ※複数回答

3月	3
4月	20
5月	19
6月	8
7月	3
8月	0
9月	2
10月	1
無回答	32

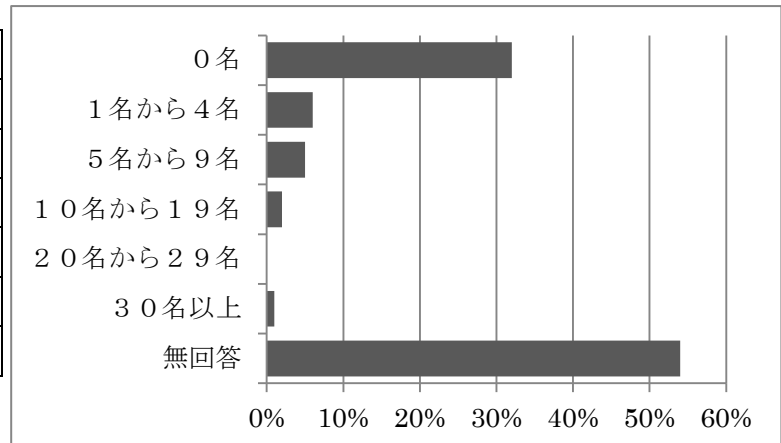


※現在の季節労働者数については、1名から4名が3割強を占めている。また、5名から19名の部分では、合わせて2割強となっている。

雇入れ月については、4月から5月が、4割強となり、年度替わりでの雇入れが顕著である。

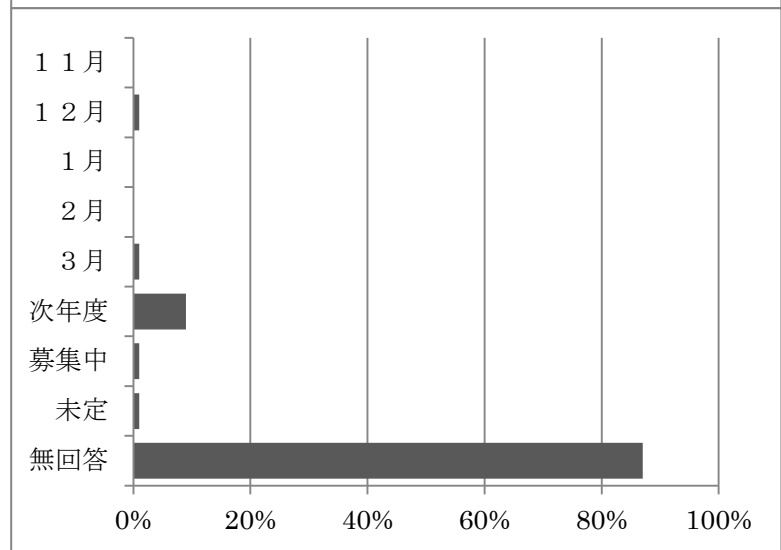
[今後の季節労働者雇用予定数]

0名	28
1名から 4名	5
5名から 9名	4
10名から 19名	2
20名から 29名	0
30名以上	1
無回答	48



(雇入れ予定月)

11月	0
12月	1
1月	0
2月	0
3月	1
次年度	8
募集中	1
未定	1
無回答	76

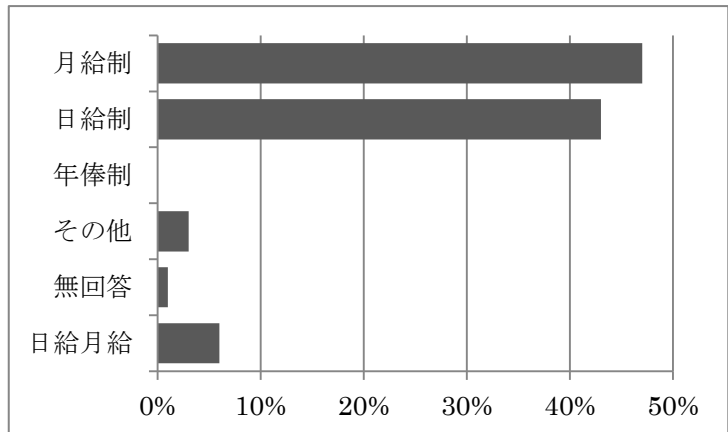


※前設問とは対照的に、今後（冬期）での季節労働者の雇入れについては、0名で、3割強、無回答を雇入れなしと推定すると、合わせて8割弱となり、協議会が支援対象としている管内では、冬期に季節労働者を必要としている事業所（業種）が少ない傾向がうかがえる。

**【設問4 貴社の給与体系について、お伺いします。】**

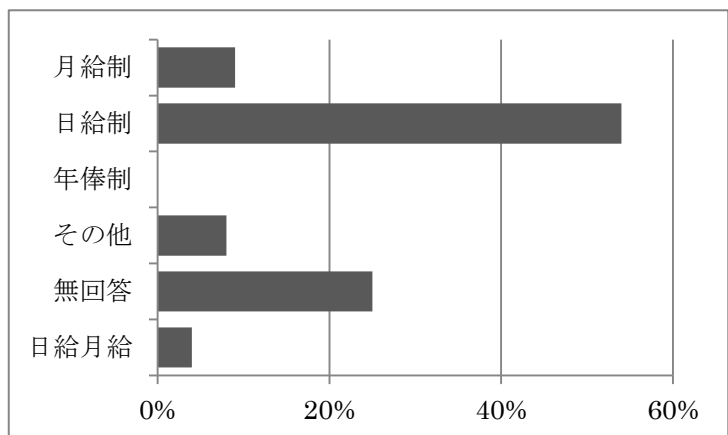
[通年雇用者]

月給制	46
日給制	42
年俸制	0
その他（具体名は下表）	3
無回答	1
日給月給	6
〔その他〕	
・能力請負	



[季節労働者]

月給制	8
日給制	50
年俸制	0
その他（具体名は下表）	8
無回答	23
日給月給	4
〔その他〕	
・時給（同意見3件）	
・能力請負	

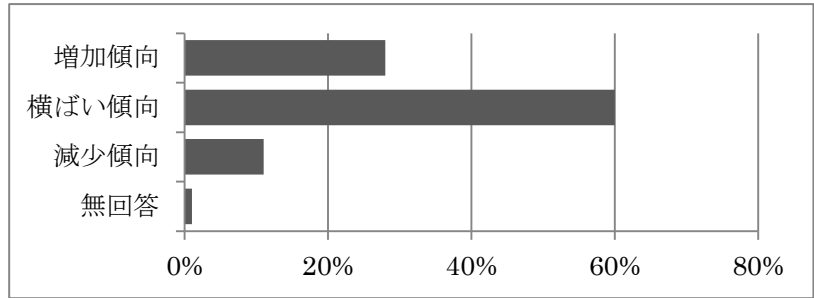


※通年雇用では、約半数が月給制となっており、季節労働者の1割未満と比較すると、安定収入が見込まれる状況である。

一方で、日給制（日給・月給を含む）の割合は、ともに4割強、5割強と、業種柄での給与形態が見て取れる結果となった。

【設問5 貴社の業務量、売上高などについて、お伺いします。】 (直近3年間)

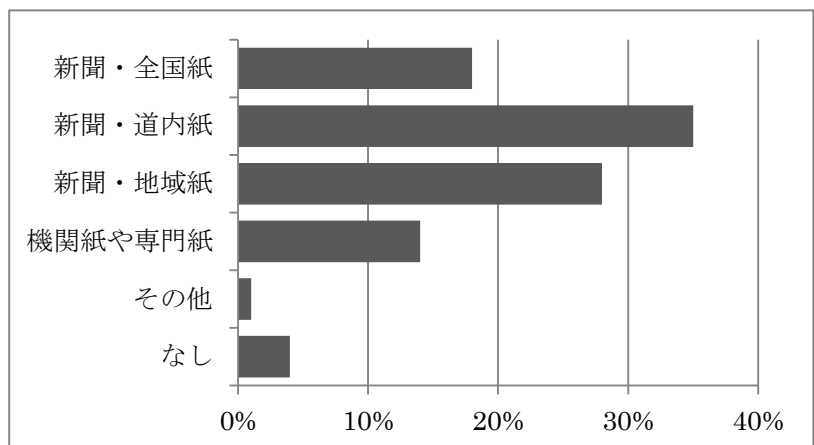
増加傾向	24
横ばい傾向	53
減少傾向	10
無回答	1



※3割弱が、直近3年間で「増加傾向」との回答があり、昨年度くらいから支援員が企業訪問の中で聞かれている、建設業を中心とする「人材不足」の声と比例している結果となった。

【設問6 貴社が普段ご覧になっている新聞、機関紙や専門紙について、お伺いします。】

新聞・全国紙	24
新聞・道内紙	47
新聞・地域紙	37
機関紙や専門紙 (具体名は下表)	19
その他	1
なし	5



〔機関紙や専門紙〕

- ・北海道建設新聞 (同意見7件)
- ・日刊建設新聞 ・ 民有林新聞 ・ 日刊工業新聞 ・ 日本住宅新聞
- ・北海道通信 日刊建設版 ・ 建設機械施工 (月刊誌) ・ 林材安全 (月刊誌)
- ・月刊 財界さっぽろ ・ 週刊ダイヤモンド ・ プレジデント ・ 警備に係るもの

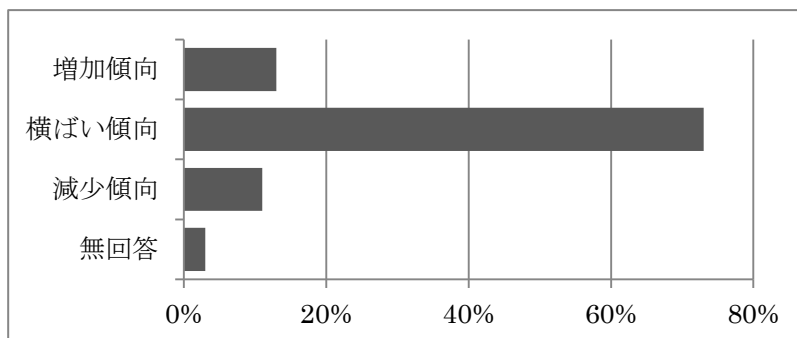
※新聞の道内紙、地域紙について、6割強が購読されており、協議会周知などに反映させていきたい。



②貴社の雇用状況などについて、お伺いします。

【設問7 直近3年間の通年雇用者の雇入れ状況について、お伺いします。】

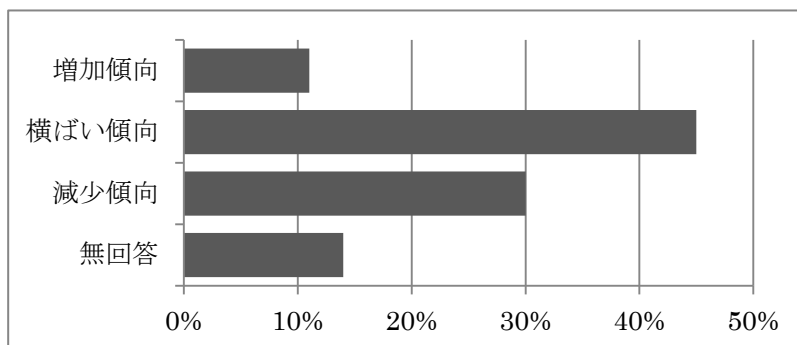
増加傾向	1 1
横ばい傾向	6 4
減少傾向	1 0
無回答	3



※増加傾向が1割強。横ばい傾向を、定期的な雇入れとみなすと、通年雇用者は、微増ではあるが、全体的に増加傾向であることが見て取れる。

【設問8 直近3年間の季節労働者の雇入れ状況について、お伺いします。】

増加傾向	1 0
横ばい傾向	4 0
減少傾向	2 6
無回答	1 2

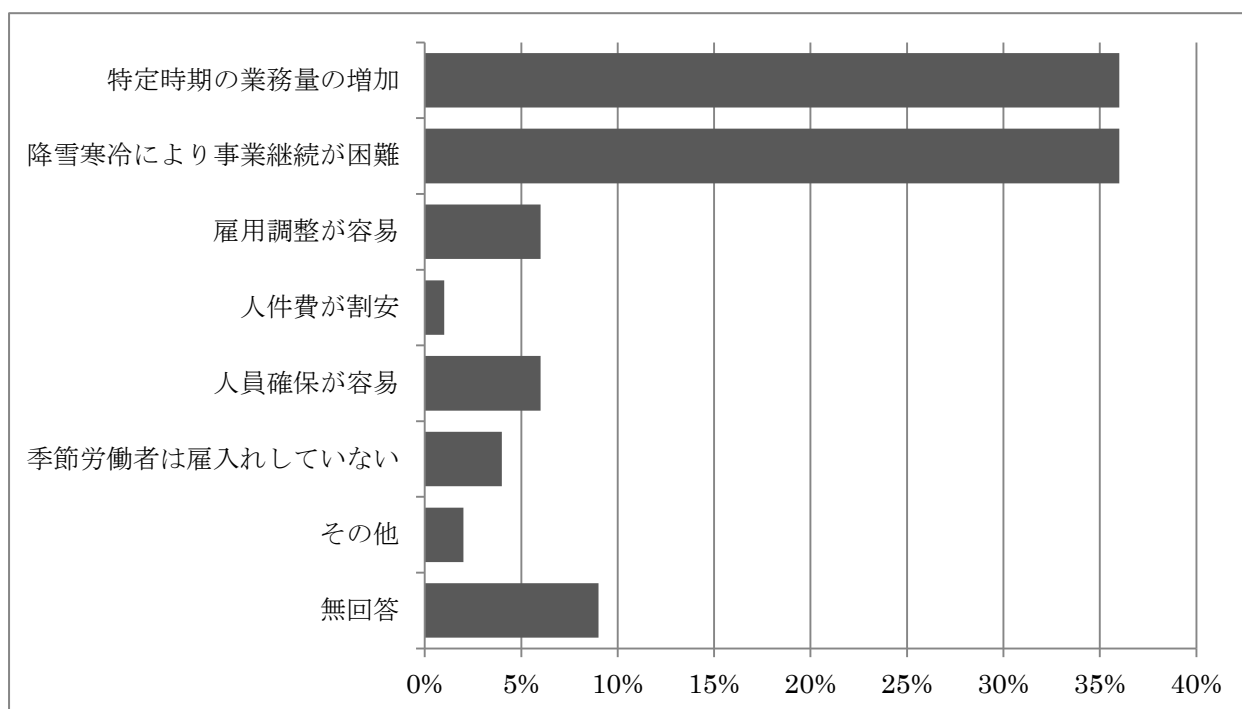


※減少傾向が3割強となっている。この点については、「減少傾向」と回答している事業所では、過去3年間に季節労働者を通年雇用に切替えている。

**【設問9 季節労働者を雇入れしている(雇入れしていた)理由について、お伺いします。】**

(該当項目に○もしくは、ご記入ください。)(複数回答可)

特定時期の業務量の増加	37
降雪寒冷により事業継続が困難	37
雇用調整が容易	7
人件費が割安	1
人員確保が容易	6
季節労働者は雇入れしていない	4
その他(具体的記述は下表)	2
無回答	10
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月から11月が営業期間のため。</li> <li>・作業員の意識。</li> </ul>	

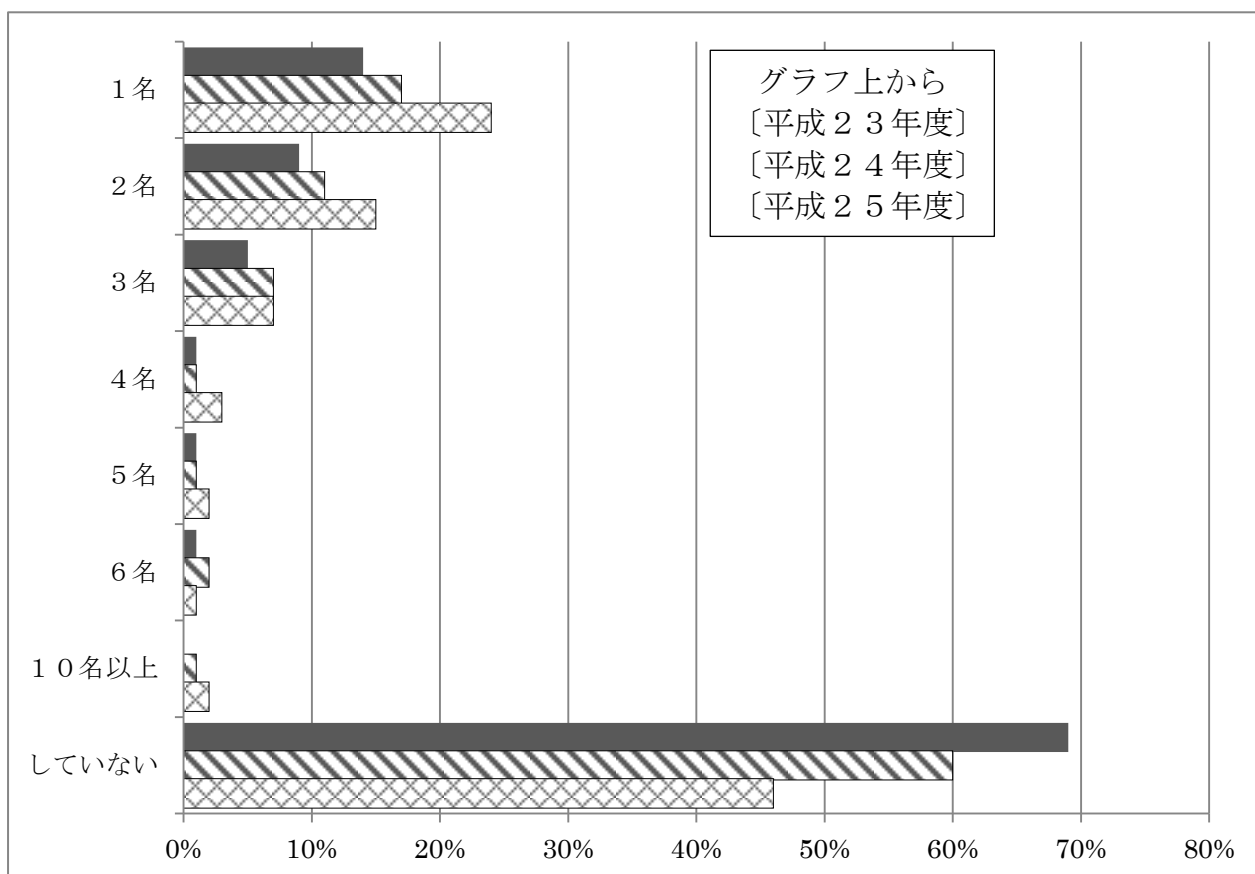


※「特定時期の業務量の増加」と「降雪寒冷により事業継続が困難」の2回答が特出ししており、業務量の平均化や冬期の事業創出などで、2点が解消されてくることが、通年雇用化への促進につながるものと考えられる。

③貴社の通年雇用化状況などについて、お伺いします。

【設問10 季節労働者を通年雇用に切り替えしましたか。】(過去3年間)

〔平成23年度〕		〔平成24年度〕		〔平成25年度〕	
1名	12	1名	15	1名	21
2名	8	2名	9	2名	13
3名	4	3名	6	3名	6
4名	1	4名	1	4名	3
5名	1	5名	1	5名	2
6名	1	6名	2	6名	1
10名以上	0	10名以上	1	10名以上	2
していない	61	していない	53	していない	40



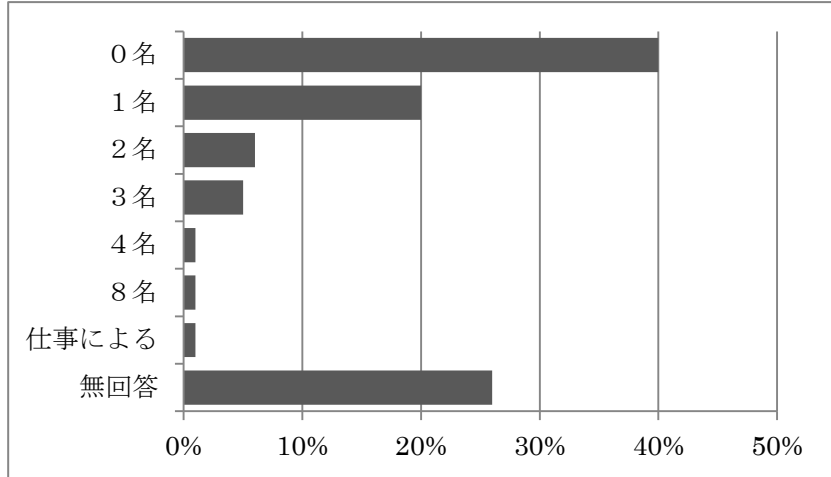
※1名から2名の通年雇用化数から、平成23年度で合わせて2割強、平成24年度で合わせて3割弱、平成25年度で4割と、増加傾向である。

設問5での業務量、売上高の増加傾向が反映されているものと推察される。

**【設問11 今年度(平成26年度)季節労働者を通年雇用への切り替えの予定はありますか。】**

〔切り替え予定人数〕

0名	35
1名	18
2名	5
3名	4
4名	1
5名以上	1
仕事による	1
無回答	23

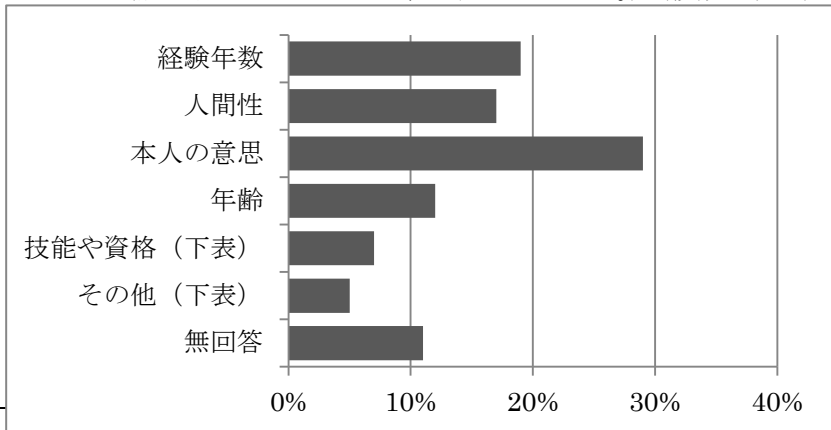


※平成26年度は、1名から2名の通年雇用への切り替えは2割強で、前設問の平成25年度の数値と比較すると、減となるが、依然継続的な通年雇用への切り替え増と言えるのではないと思われる。

**【設問12 通年雇用へ切り替えた場合(もしする場合)、必要な事項について、お伺いします。】**

(該当項目に○もしくは、ご記入ください。)(複数回答可)

経験年数	27
人間性	25
本人の意思	42
年齢	17
技能や資格(下表)	11
その他(下表)	7
無回答	16



〔技能や資格〕

- ・土木施工管理技士(同意見3件)
- ・大型自動車免許 ・大型特殊免許 ・玉掛け技能 ・建築機械施工技士
- ・管工事施工管理技士 ・給水装置工事主任技術者 ・排水設備工事責任技術者
- ・塗装技能士

〔その他〕

- ・本人の仕事に対する向上心。 ・冬期間の受注量確保。 ・家族構成。
- ・通年の仕事があること。 ・勤務地を道外にしても拒否しないこと。
- ・仕事量。 ・本人の能力。

※「人間性」「本人の意思」との回答が半数を占める。次いで「経験年数」とあり、労働者の仕事に対する意識を高める必要性を感じることができる。

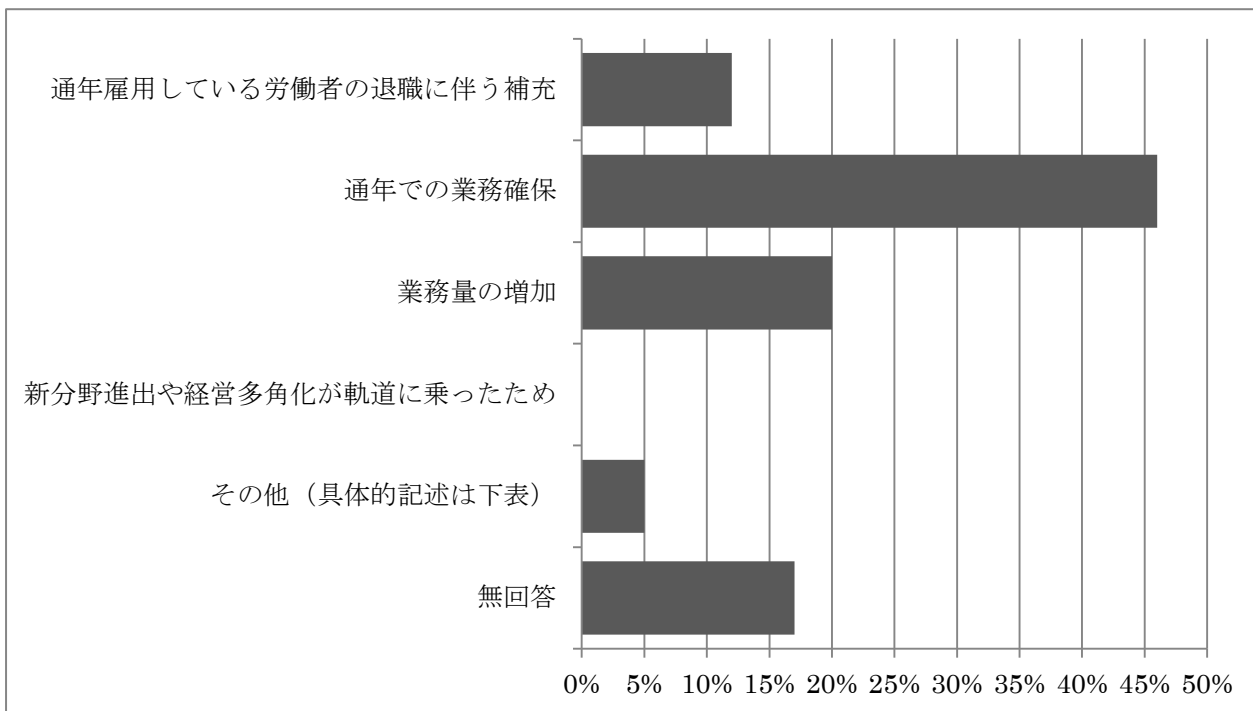
**【設問13 通年雇用に切り替えた(切り替える)理由について、お伺いします。】**

(該当項目に○もしくは、ご記入ください。)(複数回答可)

通年雇用している労働者の退職に伴う補充	12
通年での業務確保	49
業務量の増加	22
新分野進出や経営多角化が軌道に乗ったため	0
その他(具体的記述は下表)	5
無回答	18

その他

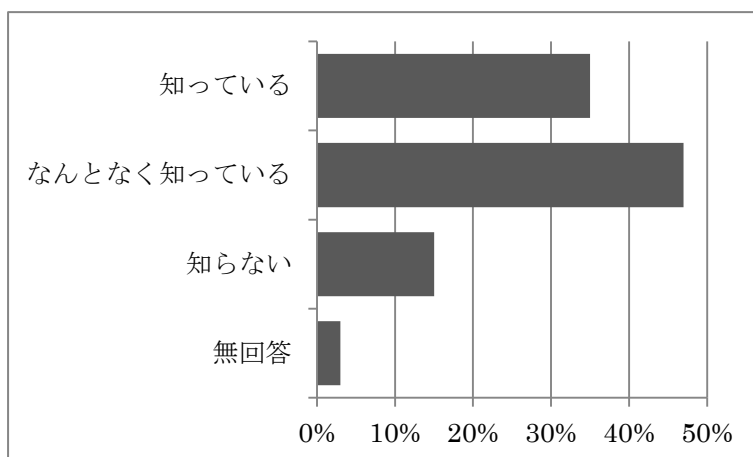
- ・本人の意思。(同意見3件)
- ・雇用の安定により従業員を確保する。 ・現場管理者の補充。
- ・雇用者を確保するため。 ・雇用者の生活プランを立てやすくするため。
- ・作業員の確保。 ・若者の育成。



※前設問に対して、企業側では「通年での業務確保」が大前提であり、ここでも、冬期の事業創出といった対策の必要性を感じる。

【設問14 厚生労働省などが実施している各種奨励金の内容を知っていますか。】

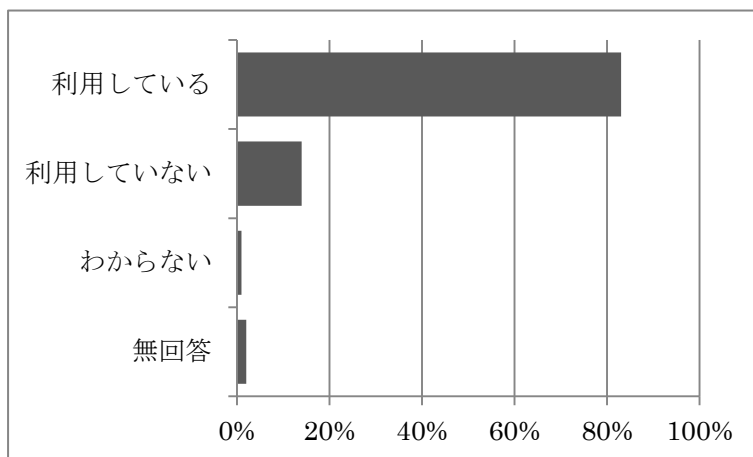
知っている	31
なんとなく知っている	41
知らない	13
無回答	3



※「なんとなく知っている」との回答が約半数を占めている。支援員の企業訪問でも、「国の奨励金」「道の奨励金」「自治体の奨励金」と多種多様で煩雑であるとの声が聞かれており、一元的な周知を希望する声が聞かれる。

【設問15 通年雇用奨励金を利用していますか。】(過去3年間以内)

利用している	73
利用していない	12
わからない	1
無回答	2



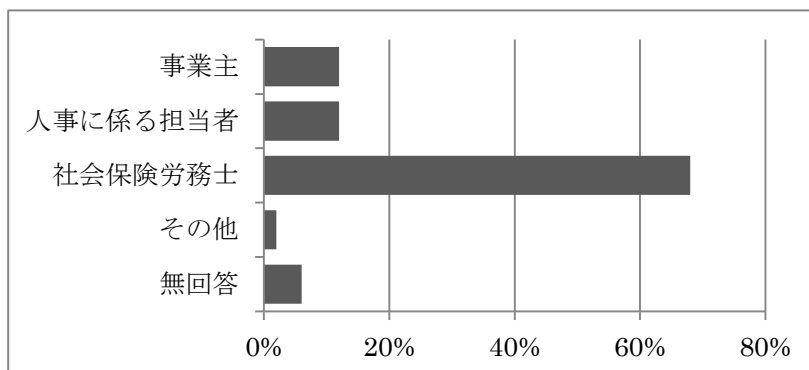
【設問16 その他の奨励金を利用していますか。】(過去3年間以内)

特定求職者雇用開発助成金	(厚生労働省)	2	2%
若者チャレンジ奨励金	(厚生労働省)	1	1%
トライアル雇用奨励金	(厚生労働省)	1	1%
雇用調整助成金(中小企業緊急雇用安定助成金)	(厚生労働省)	1	1%
建設雇用改善助成金	(厚生労働省)	1	1%
建設労働者確保育成助成金	(厚生労働省)	1	1%
キャリアアップ助成金	(厚生労働省)	1	1%
地域若年者雇用奨励事業	(北海道)	1	1%
利用なし		2	2%
無回答		78	87%

※前設問の「通年雇用奨励金」の利用については、8割強となっているのに対して、他の奨励金の利用は数件となっている。

【設問17 通年雇用奨励金などの手続きは、誰がしていますか。】

事業主	11
人事に係る担当者	11
社会保険労務士	61
その他(下表)	2
無回答	5
その他	
・司法書士	
・各部署担当者	



※奨励金などの手続きについては7割弱が、「社会保険労務士」に依頼されており、協議会としても、社会保険労務士の方への訪問などの必要性を感じる。

#### ④その他

【設問18 当協議会や自治体に対して、通年雇用化への施策や季節労働者に係る雇用対策などについて、ご意見・ご要望をお教えてください。】

〔要望や意見〕

- ・資格取得の推進、お願いします。
- ・特例一時金を廃止して、企業内の職業訓練に補助金などの支援を増やすことによって、労働者の技術向上、通年雇用化につながると思います。
- ・年間を通じての工事の確保。
- ・冬期間休業などの補損部分の奨励金のあり方。
- ・冬期の仕事の確保が難しい。
- ・安心、安全な都市作りには、通年の仕事が欲しい。
- ・生産性のある仕事が苫小牧市にあればいいのですが、少ないです。

調査結果はここまで



# 調 査 票 様 式

平成26年度 厚生労働省委託事業

## 平成26年度 通年雇用化実態調査

東胆振・日高・平取地域 通年雇用促進支援協議会

この調査は、東胆振・日高・平取地域 通年雇用促進支援協議会が支援対象としている管内(苫小牧市、白老町、厚真町、安平町、むかわ町、日高町、平取町)で、季節労働者を雇用されている企業(されていた企業)の皆さまを対象に、実施させていただくものです。

今後の通年雇用の促進や、当協議会の事業実施の際に、資料として活用することとしており、皆さまのご回答が貴重な資料となりますので、趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

### 【記入上のご注意】

- この調査は、調査回答日、もしくは、質問内かつ書き時期での状況について記載してください。
- 回答は設問の内容により、選択肢については、○で囲んでいただくか、該当する事項についてご記入してください。

**※ ご回答は、同封の返信用封筒に入れ 11月7日(金)までに、ご返送ください。**

※ご回答いただいた内容につきましては、当協議会の実施する事業のみに活用するものであり、適正に管理いたします。

【お問い合わせ先】 東胆振・日高・平取地域 通年雇用促進支援協議会 事務局  
〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号  
(苫小牧市役所7階 工業労政課内)  
(担当 小林・天摩)  
電話:0144-34-5521  
FAX:0144-34-7110

※次ページより、調査票となります。

ここから調査票です。ご記入をお願いいたします。

①貴社の業種や状況等について、お伺いします。

【設問1 貴社(事業所)について、お伺いします。】

貴社名		
業種又は 業務内容		
所在地	〒	
連絡先	(電話)	(eメール)
回答者名 (担当者)	役職/氏名	回答日 平成 年 月 日

【設問2 貴社の全従業員数について、お伺いします。】 (回答日現在)

[全従業員数 : 名]

【設問3 貴社の季節労働者数について、お伺いします。】 (回答日現在)

[季節労働者数 : 名 (雇入れ月 : \_\_\_\_月)]

[今後雇用予定 : 名 (雇入れ予定月 : \_\_\_\_月)]

【設問4 貴社の給与体系について、お伺いします。】

〔 通年雇用者 ・ 月給制 ・ 日給制 ・ 年俸制 ・ その他 ( ) 〕  
〔 季節労働者 ・ 月給制 ・ 日給制 ・ 年俸制 ・ その他 ( ) 〕

【設問5 貴社の業務量、売上高などについて、お伺いします。】 (直近3年間)

[ ・ 増加傾向 ・ 横ばい傾向 ・ 減少傾向 ]

【設問6 貴社が普段ご覧になっている新聞、機関紙や専門紙について、お伺いします。】

〔 ・ 新聞 ( ・ 全国紙 ・ 道内紙 ・ 地域紙 ) ・ その他 ・ なし 〕  
〔 ・ 機関紙や専門紙 ( 具体名 : ) 〕



【設問14 厚生労働省などが実施している各種奨励金の内容を知っていますか。】

〔・知っている           ・なんとなく知っている           ・知らない 〕

【設問15 通年雇用奨励金を利用していますか。】(過去3年間以内)

〔・利用している           ・利用していない           ・わからない〕

【設問16 その他の奨励金を利用していますか。】(過去3年間以内)

<u>記述欄</u>	
・	・
・	・
・	・
・	・

【設問17 通年雇用奨励金などの手続きは、誰がしていますか。】

〔・事業主   ・人事に係る担当者   ・社会保険労務士   ・その他(           )〕

④その他

【設問18 当協議会や自治体に対して、通年雇用化への施策や季節労働者に係る雇用対策などについて、ご意見・ご要望をお教えてください。】

<u>記述欄</u>
------------

※調査票は、ここまでになります。

ご協力、誠にありがとうございます。

調査結果につきましては、冊子としてまとめたものを、後日、お送りいたします。

《 発 行 》

東胆振・日高・平取地域 通年雇用促進支援協議会

〔事務局〕 苫小牧市旭町4丁目5番6号

電 話 : 0 1 4 4 - 3 4 - 5 5 2 1

F A X : 0 1 4 4 - 3 4 - 7 1 1 0

E-mail : [tsuunenkyou-35@dune.ocn.ne.jp](mailto:tsuunenkyou-35@dune.ocn.ne.jp)